

市民・地域・行政の輪

フレー！フレー！
子育て応援団です

昨年の10月初旬の4日間、市民会館で21世紀職業財団鹿児島事務所の主催で、「保育サポーター養成講座」が開催されました。

県内各地から保育士資格取得者や子育て経験者の方々が参加し、20時間にわたって講義・実習のカリキュラムを学習し、「保育サポーター」として登録・認定を受けました。

近年、それぞれの家庭の事情により、多様な子育て支援が必要になってきています。そんなニーズに答えられる一つが「保育サポーター」です。

川内市では、この認定を受けた方々が34人います。利用したい方は、「フレーフレー・テレフォン」に、お気軽にお問い合わせください。お近くの「保育サポーター」をご紹介します。お電話お待ちしております。

こんな時に利用できます

- ・子どもが病気、でも仕事は休めない。

- ・残業！保育園のお迎えと、

- ・その後の面倒をみてほしい。

- ・学校・幼稚園の行事に参加したい。

- ・病院に行きたいが、子ども

- ・を連れていけない。

- ・保育園入所までの短期間。

- ・お産で入院の間。

- ・などなど……。

- ・などなど……。

どんなことでも

お気軽にご相談ください！

「フレーフレー・テレフォン」

☎099-259-2020

●相談日・時間

月曜日から金曜日(祝日を除く)の9時30分～16時30分

男女共同参画宣言都市
記念フォーラム

昨年12月1日、男女共同参画宣言都市記念フォーラムが行われました。

川内市民合唱団の方々によるオープニングセレモニーで幕を開けた「記念式典」。川内市長、フォーラム実行委員長、ウォータークイン・キング、そして一般公募された定型詩の表彰者の7人で男女共同参画都市宣言文を厳かに宣誓。これまで参画社会作りに努め、そこに携わった方々の努力が報われた瞬間でもありました。

第2部は「川内市男女共同参画基本条例制定記念シンポジウム」。テーマは『何が変わる、何を变える、男女共同参画基本条例』です。家庭、職場、そして社会のこれまでの現状(実態)や、これからどうあるべきか、また川内市の基本条例に期待するものなど、5人の登壇者によって、活発な意見交換が行われました。



編集後記

なぜ、言うことをきかないの？どうして自分の時間も持てないの？イライラしながら自分に余裕のない生活。カッとしてしまった後に、天使のような寝顔の子どもを抱きしめ、ごめんねと涙する日。そんな経験した人って、私だけじゃないはず。そんな時、あなたのそばには話を聞いてくれる人がいますか？

今回は、育児支援情報特集を組んでみました。紙面の都合上、簡単な紹介しかできませんでし

たが、追って子育て支援第2弾で各団体・サークルなど、詳しい情報を載せていく予定です。さまざまな家庭環境で育児に奮闘中のあなた！1人っきりの子育ての時代は、そろそろ終わりにしませんか？もともと子どもたちの笑顔いっぱい川内市へ：変わりますように。

市では、条例の制定と都市宣言を記念して、男女共同参画に関する定型詩を募集しました。応募1345作品の中から、今回は小学生の作品の一部を紹介しています。自分の作品を探してみてください。

この情報誌に関するご意見・ご感想、取り上げたいことなどありましたら、下記までご連絡ください。

編集発行

〒895-8650 川内市神田町3番22号

川内市役所 企画経済部 企画課 男女共同参画係

☎235111(内線482) FAX205570

Eメール: gender-pl@sendai-net.jp